

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 0 4 号
件 名	秋葉区山の手地区住民バスの社会実験の中止を求めることについて
要 旨	<p>新潟市の財政は危機的な状態で、平成 29 年度決算では、基金（預金）が 33 億円、市債（借金）は 1 兆 30 億円となり、市民 1 人当たりに換算すると、基金（預金）はわずか 4,156 円、市債（借金）は何と 125 万 9,260 円という財政破綻の新潟市になってしまいました。</p> <p>新潟市は、倒産地獄からの脱却を図らなければならず、財政の立て直しが緊急の課題です。</p> <p>特に、費用対効果を重視した事業展開が必要です。</p> <p>秋葉区山の手地区住民バスは、社会実験として 4 月から運行しましたが、別表のごとく倒産に等しい運行実績です。</p> <p>4 月から 10 月までの乗客数は累計 1,568 人、月平均乗客数 224 人、1 日当たりの乗客数は 10.8 人です。運賃収入は累計 23 万 6,000 円、月平均運賃収入 3 万 3,714 円、1 日当たりの運賃収入は 1,627 円で、運行費用は累計 527 万 1,768 円、月平均運行費用 75 万 3,109 円、1 日当たりの運行費用 3 万 6,357 円となっており、収支率 4.47%という惨たんたる数値となっています。</p> <p>このまま社会実験を続行すれば、新潟市の赤字財政を助長することになりますので、秋葉区山の手地区住民バスの社会実験の中止を求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 30 年 12 月 13 日 環境建設常任委員会
受 理	平成 30 年 11 月 30 日 第 4 1 7 号